

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 富士テクニカ宮津
 コード番号 6476 URL <http://www.fuji-miyazu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和久田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 村上 正明

TEL 055-977-2300

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,005	100.2	91	—	125	—	156	—
23年3月期第1四半期	1,501	△36.0	△293	—	△349	—	△355	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 194百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △360百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	50.92	—
23年3月期第1四半期	△44.32	—

(注) 1. 平成22年12月1日付で、10株を1株とする株式併合を行っております。

2. 期中平均株式数の算定において、B種優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	22,276	—	4,296	—	—	19.0
23年3月期	21,388	—	4,101	—	—	18.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,238百万円 23年3月期 4,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	10,000	60.8	△800	—	△900	—	△900	—	△292.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の主要売上品目である自動車用プレス金型は、各プロジェクトの売上計上時期が変動し易く、その若干の伸長が当社の期間損益に少なからず影響を及ぼすため、第2四半期連結累計期間の業績予想は非開示とさせていただきます。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	804,341 株	23年3月期	804,341 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,606 株	23年3月期	1,497 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	802,735 株	23年3月期1Q	8,029,965 株
----------	-----------	----------	-------------

(注) 1. 平成22年12月1日付で、10株を1株とする株式併合を行っております。

2. 期中平均株式数の算定において、B種優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の
開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	-	-	-	-
24年3月期	-	-	-	0.00	0.00
24年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

発行済株式数(A種優先株式)

期末発行済株式数: 24年3月期第1四半期 736,111株

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
B種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	-	-	-	-
24年3月期	-	-	-	0.00	0.00
24年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

発行済株式数(B種優先株式)

期末発行済株式数: 24年3月期第1四半期 2,278,258株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした経済成長による需要増等により、緩やかに企業収益の改善や個人消費に持ち直しの兆しも見られましたが、欧州諸国の財政危機や急激な円高の進行により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、管理体制をより一層強化する事により個別案件の採算性向上に努めたほか、前連結会計年度末に実施した希望退職等による固定費の削減、製造工程見直し等による原価低減を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,005百万円（前年同期比100.2%増）、営業利益は91百万円（前年同期営業損失293百万円）となりました。営業外損益においては、海外関連会社における持分法による投資利益83百万円を計上した結果、経常利益125百万円（前年同期経常損失349百万円）、四半期純利益156百万円（前年同期四半期純損失355百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①自動車用プレス金型事業

当事業におきましては、当第1四半期連結累計期間において、海外案件の出荷増加により、売上高は2,070百万円（前年同期比44.9%増）の増収となりました。また、固定費削減や原価低減等により、セグメント利益は64百万円（前年同期セグメント損失178百万円）となりました。

②自動車用溶接治具事業

当事業におきましては、当第1四半期連結累計期間において、海外案件の出荷増加により、売上高は935百万円（前年同期売上高72百万円）となり、セグメント利益は12百万円（前年同期セグメント損失107百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比して888百万円増加の22,276百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1,044百万円増加したことによるものであります。負債については、前連結会計年度末に比して693百万円増加の17,980百万円となりました。これは主として、前受金が1,356百万円増加した一方で、流動負債その他が551百万円及び長期借入金が297百万円それぞれ減少したことによるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比して194百万円増加の4,296百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比して0.1ポイント増加の19.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想については、平成23年5月13日公表の業績予想から変更はありません。当社の主要売上品目である自動車用プレス金型は、各プロジェクトの売上計上時期が変動し易く、その若干の伸長が当社の期間損益に少なからず影響を及ぼすため、第2四半期連結累計期間の業績予想は非開示とさせていただきます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、営業利益及び経常利益並びに四半期純利益を計上したものの、当連結会計年度における通期業績予想としましては、営業損失800百万円、経常損失900百万円、当期純損失900百万円と見込んでおります。

これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、平成22年12月15日付で株式会社企業再生支援機構及び株式会社静岡銀行からの第三者割当増資8,437百万円を受け、12月16日付で株式会社宮津製作所からの事業譲受を完了したことで、従前、大きく棄損した純資産は改善され、財務状況は大きく回復しております。これを基盤に事業統合による金型事業における安定的な収益の維持に向けた事業再生計画を実施することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,214	5,258
受取手形及び売掛金	3,631	3,362
仕掛品	4,976	5,471
その他	403	254
貸倒引当金	△83	△74
流動資産合計	13,142	14,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,099	1,959
土地	2,425	2,240
その他(純額)	783	723
有形固定資産合計	5,308	4,923
無形固定資産		
のれん	844	833
その他	171	168
無形固定資産合計	1,015	1,001
投資その他の資産		
その他	2,015	2,173
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	1,920	2,078
固定資産合計	8,245	8,004
資産合計	21,388	22,276
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,362	2,700
前受金	1,766	3,122
工事損失引当金	784	701
事業構造改善引当金	310	271
その他	1,372	820
流動負債合計	6,596	7,616
固定負債		
長期借入金	8,575	8,277
退職給付引当金	1,581	1,577
事業構造改善引当金	264	264
その他	268	244
固定負債合計	10,690	10,363
負債合計	17,286	17,980

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,132	3,081
資本剰余金	4,956	13
利益剰余金	△5,962	1,188
自己株式	△13	△13
株主資本合計	4,113	4,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	0
為替換算調整勘定	△72	△31
その他の包括利益累計額合計	△69	△31
新株予約権	57	57
純資産合計	4,101	4,296
負債純資産合計	21,388	22,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,501	3,005
売上原価	1,573	2,617
売上総利益又は売上総損失(△)	△71	388
販売費及び一般管理費	221	297
営業利益又は営業損失(△)	△293	91
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	78	83
不動産賃貸料	37	33
その他	40	15
営業外収益合計	159	136
営業外費用		
支払利息	73	49
為替差損	130	42
その他	11	10
営業外費用合計	214	101
経常利益又は経常損失(△)	△349	125
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
退職給付引当金戻入額	27	—
固定資産売却益	—	29
投資有価証券売却益	—	5
その他	0	—
特別利益合計	30	35
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△319	158
法人税、住民税及び事業税	5	2
法人税等調整額	30	△0
法人税等合計	36	2
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△356	156
少数株主損失(△)	△0	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△355	156

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△356	156
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△20	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	15	41
その他の包括利益合計	△4	37
四半期包括利益	△360	194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△360	194
少数株主に係る四半期包括利益	△0	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車用 プレス金型 事業	自動車用 溶接治具 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,428	72	1,501	—	1,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	(2)	—
計	1,428	75	1,504	(2)	1,501
セグメント損失(△)	△178	△107	△285	(7)	△293

- (注) 1. セグメント損失の調整額△7百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車用 プレス金型 事業	自動車用 溶接治具 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,070	935	3,005	—	3,005
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,070	935	3,005	—	3,005
セグメント利益	64	12	77	14	91

- (注) 1. セグメント利益の調整額14百万円には、セグメント間消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月27日開催の定時株主総会において、資本金及び準備金の額の減少並びに剰余金の処分を決議し、平成23年6月30日付で、資本金を2,050百万円、資本準備金を4,956百万円それぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替え、さらにその他資本剰余金のうち6,993百万円を損失の填補に充当しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,081百万円、資本剰余金が13百万円となっております。